



学校だより

令和 8 年度 7 月号

東京都立町田の丘学園校長

<http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/>

令和 8 年 7 月 1 日発行

「食べること」

保健給食部主幹 芋川 恵美子

本校では、歯科医師や言語聴覚士を外部専門員として迎え、肢体不自由教育部門は、経口で食事をしているほぼ全員に、知的障害教育部門は、形態食を食している児童生徒を中心に「摂食診断・相談」を行っています。また、校内研修においても、4 月には、初任者を対象に「摂食実技研修」を実施、夏季休業中は、全校対象に歯科医師を講師とし「摂食指導ケース研修会」を行う予定になっています。私たち教員は「食べること」を学び、重要な指導の一つと位置付けています。

「食べること」は多くの人にとって楽しみである一方、給食の時間は、学校生活の中で(場合によっては)命に関わる緊張する時間になります。人は生まれてから「食べること」を学習し、ゆっくり上達しながら、いわゆる「普通食」が食べることができるようになりますが、障がいがあることで、それが難しくなる場合もあります。また、「普通食」を食べていても、食べ物をしっかり処理できていない場合は、窒息などの危険と隣り合わせになります。「普通食」を食べているというだけで、摂食の問題が見過ごされていないか、特に知的障害教育部門の児童・生徒にとっては課題となるところです。

御家庭でも、少し丁寧に、食事の様子を見てみましょう。食べ物を咀嚼しているときや飲もうとしているときは、唇は閉じていますか？ 咀嚼しているとき、唇の端が左右非対称に動いていますか？ 歯磨きをするとき、口の中に食べ物が残っていませんか？ 食事の途中で、頻繁にお茶を飲みたがりませんか？ 唇を閉じていないと、うまく食べ物をまとめることができません。処理時に口が開いている場合は、「咀嚼」ではなく、食べ物を「たたき潰し」しているだけです。食事の途中でお茶をよく飲むのは、処理できないものを流し込んでいる場合があります。

気になることがあれば、担任の先生を通していただければ、学校でも相談ができます。すでに様々な知識を得て、食事の工夫をしていただいている御家庭もたくさんあり、その努力に感心することも、しばしばあります。私たち教員は、食べることの上達を、そしてすべて児童・生徒の発達と成長を、御家庭と共に考え、喜び合いたいと考えています。



～A高1年生の様子～

A 部門高等部1年生は男子4名でスタートしました。新しい環境の中で、4月は緊張した表情も見られましたが、日々の積み重ねの中で、身の回りの準備や活動の切り替えが少しずつスムーズになってきています。学年では、みんなで話し合って「明るい・元気いっぱい・笑顔いっぱい・思いやりのあるクラス」を目標に決めました。学習グループは J グループと C1・C2グループに分かれて行い、それぞれの課題に合わせた学習に意欲的に取り組んでいます。授業や日常生活では、声かけに応じて手順を確認したり、友達の様子に気付いて待ったり、アドバイスしたりする姿も見られるようになってきました。給食の時間は、好きな話題でやりとりを楽しみ、落ち着いて過ごしています。個性豊かな男子4名が集まった活気のある学年として、互いを認め合いながら、4人それぞれが安心して力を発揮できるよう支援していきます。



～B高1年生の様子～

B 部門高等部は 48 名の新入生を迎えました。4月当初は新しい仲間との出会いや環境の変化に、それぞれ緊張気味の表情で学校生活をスタートしました。2か月たった今、笑顔が増え、クラスを超えた様々な交流も増えてきて、それぞれのペースで学校生活を送り、少しずつ高等部の生活に慣れてきています。新しいこともたくさんある高等部ですが、毎日を楽しみながら生活をしてもらいたいと思っています。特別活動や作業学習では友人と協力をしながら自分の役割に取り組んでいます。各授業では、真剣に教員の話聞きながら、楽しく授業に参加している様子も見られるようになりました。この先も、多くの成長と一緒に過ごしていくことを楽しみにしています。御支援のほど、よろしくお願いいたします。



～A高進路学習期間～

A 部門高等部では毎年5月に進路学習期間を設定し、進路に関するさまざまな学習を行っています。

今年度Cグループは、5月25日(月)に社会体験学習としてハローワーク町田でマナー講座と面接練習、求人検索体験をさせていただきました。午後は本校の卒業生が働いている株式会社障碍社を訪問し、働くために必要な力や就職するまでの歩みなどのお話を伺いました。

Jグループは26日(火)に永山方面に行き、買い物体験と小田急線の乗車体験をしました。

27日(水)は「社会人の話を聞く会」を行いました。今年度はA部門卒業生を2名お招きし、進路選択に関わる体験や職場で大切にしているコミュニケーションの力などについてのお話を伺いました。

グループごとの学習では、三つ折り、封入、はんこ押し、名刺作成などの作業体験、コースター作りやスノーズレンなどを行って、卒業後の仕事や活動のイメージをもつことができました。

一人一人の進路は違いますが、社会人として求められる力は共通しており、報告・連絡・相談や困ったときに周りの人に助けを求めることなど、卒業後の進路を考えるうえでたくさんのことを学ぶことができました。

1週間の様々な体験や学びを通し、生徒が進路を自分のこととして考え、工夫して活動し、主体的に学ぶとする姿が見られました。今回の学びを活かし、これからも日々の学習の中で、一人一人の自立と社会参加のために進路の学びを続けていっていただきたいと思います。

～B小中プール～

今年度も6月4日より水泳学習が始まりました。小学部・中学部ではそれぞれ、安全に留意しながら水泳学習を行っています。児童生徒は一人一人の目標に向かって、水に慣れる活動や浮く練習、顔をつける練習などに取り組んでいます。小学部では、水の感触を楽しみながら笑顔で活動する姿や教師と一緒に水の中で体を動かす姿が見られます。中学部では、自分の課題や目標を意識しながら水中活動や泳ぎの練習に意欲的に取り組んでいます。プールには児童生徒の笑顔があふれ、充実した学習の時間となっています。

長時間水中での活動は普段の授業より疲れが溜まりやすいかと思いますので、保護者の皆様には引き続き児童・生徒の体調管理をよろしくお願いいたします。

